

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	104	学校名	浜松市立高等学校	校長名	宮崎 正
------	-----	-----	----------	-----	------

1 スクール・ミッション

政令指定都市浜松唯一の市立高校として、文武両道の教育方針のもと「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた教育を実践する「規律ある進学校」を目指し、グローバルな視野をもつリーダーとして広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>①文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する。</p> <p>②基礎的学力を十分に備え、自ら考え、判断し、行動できる人間を育成する。</p> <p>③グローバル・グローカルリーダーとして、世界的な視野をもちながら、地域の特色やニーズに合わせて行動できる人間を育成する。</p>	<p>①ICTの効果的な活用や主体的・対話的で深い学びの授業を通して、他者と協働して学び、思考し、判断し、表現する力と確かな学力を身に付ける。</p> <p>②総合的な探究の時間「浜市総合講座」を通して、地域社会との関わりから自ら課題を設定し、その解決能力を高め、自己の未来を切り拓く力を身に付ける。</p> <p>③生徒主体の生徒会活動や学校行事を通して、他者と協議しながら、自ら参画し、判断し、実現する、主体的に取り組む力を身に付ける。</p>	<p>①高い学習意欲を持って己を高め、自ら課題を見つけて、仲間と共に解決しようとする生徒。</p> <p>②規律ある生活態度を身に付け、文武両道を目指して自己調整しながら、粘り強く取り組むとともに、学校生活のあらゆる場面に、自ら参加しようとする意欲を持つ生徒。</p> <p>③地域から世界への視点を持ち、国際社会においてリーダーとしての活躍を目指す生徒。</p>

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 校訓「誠・愛・節」のもと、**規律、責任、品位ある生活態度**を定着させる。
- イ 知識・技能のほか、学ぶ意欲や自らで課題を見つけ課題を解決できる**確かな学力及び情報活用能力を育成**する。
- ウ 家庭や地域社会等と**連携**して「社会に開かれた教育課程」を実現し、社会に貢献できる**リーダーとしての資質・能力を育成**する。
- エ **キャリア教育**を推進し、高い志のもと自分の生き方を考え、主体的に進路選択できる力を育成する。
- オ **安心・安全な教育環境を整備**する。
- カ **ICT化及び業務改善**を推進し、**研修の充実**により教職員の資質能力・学校組織力の向上を図る。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	規律、責任、品位ある生活態度の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・「校門一礼」や挨拶の励行。 ・正しい服装・言葉遣い指導。 ・日常の交通安全指導、携帯安全教室・サイクルマナー教室の実施による事故やトラブルの未然防止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶や言葉遣いはしっかりできている」「生徒の髪型や服装はきちんとしている」等と答える生徒の肯定的自己評価を100%に近づける。 ・交通事故発生前年比10%減。 	生徒課 全職員
		<ul style="list-style-type: none"> ・「進路ダイアリー」「進路資料」を活用する。 ・主体的な家庭学習の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路ダイアリー」「進路資料」を活用していると答える生徒75%以上。 	各学年 進路課
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に清掃に取り組むための支援・働きかけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「清掃などを通して校内をきれいに保とうと心掛けている」と答える生徒85%以上。 	保健環境課 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において初期・中期指導を実施し、勉強と部活動時間のバランス・心身の健康管理のとれた規則正しい生活習慣を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年集会を毎学期実施。 ・運動部指導会、文化部指導会を年間2回以上。 ・「原則部活動時間19時まで」を徹底する。 ・定期試験一週間前までの特別許可以外の部活動禁止を徹底する。 	各学年 生徒課 進路課 管理職
イ	「主体的・対話的で深い学び」の実現と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな学習指導の実践。 ・課題解決する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業では学力を伸ばしてくれる」と答える生徒90%以上。 	教務課 進路課 各教科
		<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導を推進し、学力伸長を図る。 ・新しい大学入試に対応した指導の実施（授業・検定・進路課外等）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路指導が適切に行われている」と答える生徒90%以上。 ・平日補習、土曜補習、夏休み補習の講座を充実させる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成。 ・国際理解教育の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外語学研修等の留学や国内でグローバルに関する事業に参加した生徒の体験の成果を校内で普及する。 ・英語によるパフォーマンステストを充実させ、コミュニケーション能力の向上を図る。年間8回程度実施し、「主体的に取り組んでいる、運用能力の向上を実感している」と答える生徒70%以上。 	英語科 研修課

様式第1号

イ	教員の授業力向上	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動を推進し、思考力・判断力・表現力を身につける。 将来に必要な知識・教養を獲得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書だよりを月1回以上発行。 「朝読書」を毎日実施。 「図書室の蔵書は充実している」と答える生徒80%以上。 	各学年 図書課
		<ul style="list-style-type: none"> 授業改善を推進する。 観点別評価の改善を進める。 ICT機器を使用した授業の研究を推進する。 主体的・対話的で深い学びの授業・ICT機器活用授業の研究を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業公開一人年間1回以上、授業参観3回以上。 観点別評価に係る改善の推進。 生徒による授業評価2回実施。 市教委・県教委の事業を利用した研修・授業検討会の実施。 外部の研修講座等への参加の呼びかけ。 	研修課 教務課 進路課 情報化推進課 全職員
ウ	大学や企業・地域・家庭等との連携や協働、貢献活動をとおしてリーダーとしての資質能力の育成及び広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 進学校としての部活動の充実。 社会貢献活動を推進し、人権意識を高め、思いやりある豊かな心を育む。 生徒が他者・外部と関わり合うことを大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「部活動は充実している」と答える生徒95%以上。 県大会以上出場20部活以上。 年間で1回以上社会貢献活動（地域貢献活動・協働・連携等 自治会や同窓会との連携含む）を行う団体（部活動・委員会等）20以上。 	生徒課 各部活顧問 各委員会 全職員
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動、学級活動、行事、部活動を通じ、社会で必要とされる資質能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校行事が充実している」と答える生徒90%以上。 	生徒課 各委員会担当
		<ul style="list-style-type: none"> 広報活動及び学校の見える化を進める。 広報誌「いちりつプレス」やHP ブログ等を活用し積極的かつタイムリーに情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事掲載20回以上。 「いちりつプレス」年2回発行。 ブログの投稿が各部活動2回以上。 	情報化推進課 教頭 全教職員
エ	体系的なキャリア教育の充実と高い志を持った進路実現	<ul style="list-style-type: none"> 体系的な進路行事の充実。 総合的な探究の時間の充実。 SDGsやESD(持続可能な開発のための教育)の意識や推進。 郷土愛、職業観の醸成。 主権者教育の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容の体系化・カリキュラムマネジメントの推進。 大学模擬授業1回、職業研究会、政策提言(プレ政策提言を含む。)の実施。 	各学年 進路課 総探委員会
		<ul style="list-style-type: none"> 模擬試験の意義を理解し、受験する。 	<ul style="list-style-type: none"> 模擬試験受験後に復習していると答える生徒75%以上。 	各学年 進路課 全職員

様式第 1 号

		<ul style="list-style-type: none"> ・個別試験対策(論述等の指導)の充実により、難関大学挑戦の生徒を支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時の志望進路の実現率 60%以上。 	
オ	生徒の心身の健康・安全の確保及び教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学校事故の防止、特に熱中症に対する教職員及び生徒の注意意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症講座、救命救急講習の実施。 ・5～10月熱中症計で計測し、指標に留意した活動を行う。 	全職員 保健環境課
		<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育・安全教育の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアル及び危機管理マニュアルを定期的に検証見直し、改訂する。 ・学校安全計画の策定及び安全教育の実施。 ・防災訓練・防災教育年3回以上実施し、生徒の主体的な防災意識と対応力の向上を図る。 ・防災備品の確認、再点検。 	総務課 全職員
		<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談などを通して生徒の心身の状態を把握する。 ・生徒の情報を共有し、SCとも連携して相談体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1分間カウンセリングを1年生9～10月に実施。 ・個別面談年間2回以上。 ・正副担任・学年主任等との情報共有。 ・「教師は悩みや相談に親身になってくれる」と答える生徒90%以上。 ・保護者の相談対応の満足度を前年より上げる。 	担任 各学年 保健環境課
		<ul style="list-style-type: none"> ・校内施設・設備の点検。 ・学習環境及び設備等の充実。 ・学校内外の美化・清掃。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検学期に1回以上、不備な個所の改善。 ・学習環境及び設備の更新を進める。 ・行事の前後で環境整備委員会を中心とした美化活動の実施。 ・清掃用具点検年間3回以上。 	保健環境課 総務課 教務課 事務部
カ	学校の組織力の向上及びICT化や業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画における行事等の配置や内容を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・分掌、課長主任会等で意見の集約を図る。 ・教職員の本来業務(生徒に向き合う・指導の準備等)の時間確保のため、学校業務の整理・縮減を進め、出退勤時間の適正化をする。 	教務課 生徒課 全職員 管理職
		<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に部活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動計画表の作成。 ・各部活動月平均8日以上休養日の設定(年間を通じて)。 ・活動実績の作成。 	生徒課 各部活顧問

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の一元化の推進 ・教育課題等を共有し、組織的に解決していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有フォルダを整理する。 ・共有ツールを活用し、課長主任会・課会・学年会・各種委員会等を活性化し、着実に問題解決をしていく。 	<p>情報化推進課 全職員 管理職</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員、保護者アンケート等の評価及び意見等を、学校づくりに活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活に満足している」と答える生徒 90%以上。 	<p>総務課 研修課 全職員</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一台端末活用に向けて、校内ルールの見直しや研修を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、学級活動、学校生活において活用ルールを検討する。 	<p>情報化推進課 全職員 管理職</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な業務運用。 ・ペーパーレス化の推進。 ・会計等運用方法の見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な業務計画の推進。 ・会議資料は原則ペーパーレス化していく。 ・成績管理システムの確実な運用を図る。 ・学校予算運用の効率化。 	<p>全職員 管理職</p>